

第106号

研究所報

三好教育研究所

令和7(2025)年度

ごあいさつ

『研究所報第106号』の発刊にあたり、ごあいさつを申し上げます。

三好教育研究所では、令和7年度から「VUCA時代を乗り越え、心豊かにたくましく生き抜く『人財』の育成」を研究主題に設定し、三好郡市内各園各校のご協力をいただきながら、研究・研修活動を行ってまいりました。予測が困難なほど変化が激しく、先行きが不透明な社会の中でも、すべての児童生徒が幸せに生きていけるよう研究を進めています。

本年度の研究発表会では、芝生小学校から「自他を認め合い、多様な社会を心豊かに生きる子どもの育成～人・人・人とのつながりを通して～」というテーマで発表していただきました。「教育は人なり」という言葉どおり、人とのつながりが児童生徒を一層成長させていくことを再認識しました。もう一つ、三好教育研究所から「別室登校の生徒たちの実際～アートセラピー的取組とそよかぜ学級～」というテーマでの発表がありました。不登校児童生徒は三好地域でも増加傾向にあります。どう支援していくか、有効な1つの方法を示してくれました。その後、合唱作曲家の弓削田健介さんをお招きして、「いのちと夢のコンサート」を開催し研修を深めました。弓削田さんは、南アフリカへの移動図書館支援や被災地での復興ソング作りなど社会貢献活動も行っています。スライド・語り・音楽は私たちの心の奥に沁み、会場全体が温かな幸せな雰囲気に入れ、涙を流している先生もいました。参加された先生方は歌の力を教育の力へ変換し、日々の教育現場へと戻られました。研究発表会開催にあたりご協力いただいた三好教育会役員や研究発表会協力委員のみなさん、大変お世話になりました。

さて、本研究所では、今年度も研究員による研究はもちろん、各種調査、情報部会をはじめとする各部会の研究推進にも協力しています。また、従来からの中堅教員・管理職に対する学校運営研修、徳公教組とタイアップした臨時教員の採用研修を実施しました。加えて、本年度から使われ始めた県域アカウントを視野に、Chromebook教室を新たに実施しました。さらに、研究を深めるため三好市教育支援センター(そよかぜ学級)の支援もさせていただいています。その他、教育機器の貸し出しや拡大印刷等のお世話、各校行事予定の一括取りまとめも行ってあります。微力ではありますが、各園各校の教育活動や次代の三好教育を担う教職員の人材育成に役立てるよう、様々な事業を展開しています。

今年度、『研究所報』には3名の先生方から研究実践のご報告をいただきました。おまとめいただいた貴重な研究成果は、校種を超えて、先生方の教育実践に役立つ内容になっております。ぜひご覧いただき、参考にさせていただければ幸いです。ご執筆いただいた先生方、本当にありがとうございました。

次期学習指導要領の方向が示され、また、改正給特法が2026年施行されます。その中で、日々奮闘しておられる先生方に敬意を表します。本研究所におきましては、先生方の取組の一助を担えるように鋭意努力していきます。今後ともご指導とご協力をいただけますよう、よろしく願いいたします。

令和8年3月

三好教育研究所 所長 真鍋 憲人

目 次

あいさつ

三好教育研究所 所長 真鍋 恵人

—— 委嘱研究員研究 ——

- 自ら学び、心豊かに、たくましく生きる子どもの育成
～「つながり」を大切にした特別活動の推進～…………… 1
昼間小学校 教諭 辻 美帆
- 教科等と関連付けた食育指導
～教科と学校給食の一体化を通じた効果的な食育を目指して～…………… 5
箸蔵小学校 教諭 森 友紀美
- 心にひびくポスターコピーをつくろう
コピーライティングのすすめ …………… 8
三好中学校 教諭 天竹 雄紀
- 令和7年度 教育研修・研究事業報告…………… 12
- 歴代委嘱研究員一覧（平成元年～） …………… 14

研究主題

自ら学び、心豊かに、たくましく生きる子どもの育成 ～「つながり」を大切にした特別活動の推進～

昼間小学校 教諭 辻 美帆

1 はじめに

本校の児童は、明るく素直で、学校生活の中で仲間と共に活動することを楽しみにしている児童が多い。一方で、学年間を超えた関わりや多様な他者と協働する機会は限られており、自分の思いや考えを伝え合う力や他者のよさを認め合う姿勢には課題がみられる。

そこで本校では、「自ら学び、心豊かに、たくましく生きる子どもの育成」を学校教育目標に掲げ、その具現化を図るために特別活動の充実に取り組んできた。各学級での係活動や当番活動、学級活動の他、縦割り班活動や委員会活動、クラブ活動といった異学年交流を軸に、児童同士が互いに支え合い、協働して課題を解決する経験を大切にしている。

これらの自発的・自治的な活動を通して、児童が主体的に考え、共に行動し、仲間と学び合うことで、よりよい人間関係を築こうとする態度の育成が図られるよう研究を進めることとし、本主題を設定した。

2 研究の目的

本研究の目的は、特別活動の多様な場面を通して、児童一人一人が他者との関わりの中で「つながり」を大切にしながら、たくましく生きる力を育むことである。具体的には、以下の点を本研究のねらいとする。

1. 多様な他者と協働する態度の育成

各学年の学級活動や異学年間の活動において、計画・実践・振り返りの一連のプロセスを重ねることで、課題解決に向けて他者と協力し合い、粘り強く取り組む態度を育む。

2. 豊かな人間関係を育む心の成長

他者の思いや考えを尊重し、互いに支え合うことで、温かく安心できる人間関係を築く力を育てる。

3. 自己肯定感・自己存在感の高まり

役割や責任を果たす経験を通して、自分のよさや存在の大切さに気づき、たくましく行動できる態度を育てる。

3 研究の実践（活動事例）

（1）全学年での取組

①やるキッズ集会（異学年交流）

ハッピー委員会が企画・運営を行い、学期に1～2回開催した。高学年が低学年のサポートに入り、困っていることに気付いて声をかけたり、やさしく手助けをしたりしていた。また、低学年の児童の思いを汲み取りながら会話を広げ、安心して活動ができる雰囲気づくり

を心がけるなど、高学年が中心となって異学年交流班の活動を支えてきた。活動後には、休み時間等で、学年関係なく交流している場面が多く見られた。



ボールはこびりレー



アルファベットじゃんけん



だるまさんがころんだ

②できたよできるよPR集会

日頃、自分が熱心に取り組んでいることや好きなこと等を全校児童の前で発表したり紹介したりする場を設けた。出場者は立候補制で、児童自ら申し込みを行い、休み時間等で練習を重ね、本番を迎えた。このような経験は、自分のよさや新たな一面に気付く機会となり、自己肯定感や自己存在感を高められるとともに、友達の発表を見たり聞いたりすることを通して、友達のよいところを発見でき、自分のこれからの生活に生かそうとする意欲も高められたと考える。集会後には、「来年はPR集会に出たいな。」という声もあった。また、自分もできるようになりたいと練習に励む児童も見られた。



ダンス



フラフープ



ピアノ



観覧児童の様子



司会進行役の児童

(2) 児童会活動での取組

①代表委員会

6年生が司会進行を務め、主体的に運営してきた。議題内容としては、「きまりを守ろう」「人の話を聞こう」「礼儀正しくしよう」の3つの重点を軸に取組を進める「ひるまっこチャレンジプロジェクト」について各学年での取り組みの結果を学期に1～2回報告する場を設けた。さらに、代表委員会で話し合った内容をもとに、6年生が各学年に振り返りを報告した。こうした活動を通して、全校で課題解決に向けて他者と協力し合い、よりよい学校づくりにつなげてきた。



②委員会活動

各委員会では、常時活動の他に、全校で取り組む活動を企画し、実践してきた。活動内容については、話し合いを重ねながら、工夫を凝らし、全校が主体的に参加できるように進めてきた。こうした取組を通して、児童は自分自身の役割や責任を自覚し、他者と協力しながら学校生活をよりよくしようとする意識を高めてきた。



ハッピー委員会：「ひるまっこの木」の葉っぱ作成の呼びかけ…あったか言葉やありがとうの気持ちなどテーマに合わせたメッセージを葉っぱに書き、掲示している。



環境ボランティア委員会：ユニセフ募金や赤い羽根共同募金等の募金活動への呼びかけ



図書委員会：読書集会の準備の様子



すこやか委員会：歯磨き集会(オンライン開催)…歯についての〇×クイズ等

(3) クラブ活動での取組



高学年児童が中心となり、異学年の友達と共通の活動に取り組んできた。

4 成果と課題

(1) 成果

異学年間の活動を通じて、学年間を超えて声をかけ合う姿や、下学年を思いやる行動、上学年を頼る行動が日常的に見られるようになった。また、クラブ活動や委員会活動では、話し合いを通して課題解決を図る様子が見られ、他者の意見を受け止めながら自分の意見を伝えたり、自己の役割や責任を果たしたりする児童も増えた。さらに、活動の計画・実践・振り返りを重ねることで、自分たちで工夫を凝らし、活動を進めようとする態度も育まれたと考える。

(2) 課題

一部の児童だけが活動に取り組む場面があり、全員が主体的に関わることができる仕組みづくりが必要である。また、次の活動につながるようなサイクルを定着させていくことが課題であるとする。

5 おわりに

本研究では、「自ら学び、心豊かに、たくましく生きる子どもの育成～つながりを大切にした特別活動の推進～」を目標に、学級活動の他に、縦割り班活動・児童会活動・クラブ活動の充実に向けて取り組んできた。その結果、児童は、同学年の仲間だけでなく、異学年の仲間との関わりを通じて、思いやりや責任感をもって行動する姿を見せるようになった。一方で、活動の主体性に児童間で差が見られることや、協働する場の質をさらに高めていく必要性、次の活動につなげる仕組みづくりなど、今後の課題も明らかになった。これからは、全ての児童が役割や達成感を実感できる活動設計や、他者の思いや考えをさらに尊重できるような話し合い活動の工夫、次の活動へとつながるサイクルの定着を意識しながら実践を積み重ねていくことが重要である。

特別活動は、児童の自発的・自治的な活動を通して、仲間とともに成長していくための貴重な場であるとする。本研究を通じて得られた成果と課題を基盤に、今後も「つながり」をキーワードに、児童が自ら学び、心豊かに、たくましく生きていけるような実践を継続していきたい。

(引用文献・参考文献)

小学校特別活動映像資料 児童会活動・クラブ活動編

https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryou/sho_tokkatsueizo2/

みんなでよりよい学級・学校生活をつくる特別活動(小学校編)

https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/tokkatsu_20240722-01.pdf

研究主題

教科等と関連付けた食育指導 ～教科と学校給食の一体化を通じた効果的な食育を目指して～

三好市立箸蔵小学校 栄養教諭 森 友紀美

1 はじめに

本校は、児童 64 名、教職員 21 名の小規模校である。明るく素直な児童が多く、また、地域の方々との交流も深い。地域全体で児童を育てているほか、学校と地域が一体となつて、学校行事に取り組むようなあたたかい学校である。

2 研究の目的

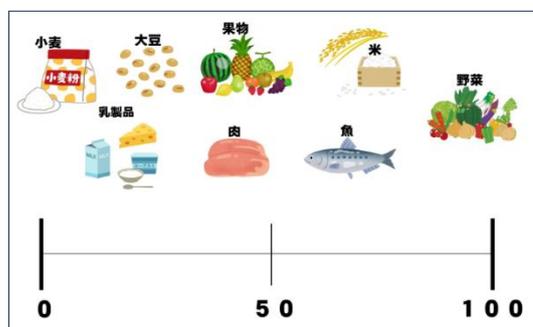
平成 29 年に改訂された小学校（中学校）学習指導要領では、食育の推進について、「体育科（保健体育科）、家庭科（技術・家庭科）及び特別活動の時間はもとより、各教科、道徳科、外国語活動及び総合的な学習の時間などにおいてもそれぞれの特質に応じて適切に行うよう努めること。」と示された。これを踏まえ、これからの学校教育において、教科等における食に関する指導はより一層重要視されるのではないかと考えた。また、教科等と学校給食を一体化し、食育を行うことで、児童の深い学びにつながるのではないかと考え、本主題を設定した。

3 研究の方法と実践

(1) 教科等と関連した食育

ア 第 5 学年 社会科「これからの食料生産」～授業実践を通して～

社会科「これからの食料生産」の導入部分に T2 として参加し、児童が毎日食べている学校給食を教材として活用し、日本の食料生産の課題をより身近に感じることができるよう指導した。本時では、給食に使われている食材の産地について学習した後、タブレットを使用してペアで身近な食材の食料自給率について予想を立てた。右の写真のようにタブレットの画面上にもものさしのようなグラフと身近な食材のイラストを用意し、食材のイラストを自分たちが予想する食料自給率の値に動かしたことにより、児童は視覚的にイメージすることができ、予想を立てやすいという効果が得られた。



【使用したタブレット教材】

また、ペアで予想を立てたことにより、児童は「この前、スーパーで見た牛肉は外国産だったから、お肉の食料自給率は低いかな。」「でも給食で毎日使っているお肉は国産だから、そこまで低くはなさそう。」と、自らの考えを広げたり、深めたりしながら身近な食材の食料自給率について考えることができた。その後、栄養教諭から、「少しでも食料自給率を上げるために、給食ではなるべく県内産や三好市産の食材を使うようにしている。みんなもこれから自分で食材を選ぶ際は、産地も意識してほしい。」ということをお伝え、地産地消についても軽く触れた。そして、児童が授業で学習したことがより実感できるように、この日の給食には三好市産のさつまいもを使った「三好市産さつまいもポタージュ」を提供し、教科と給食を一体化して指導を行うなどの工夫もした。

イ 第5学年 社会科「これからの食料生産」～家庭への啓発～

日本の食料生産について授業を行い、児童にこれからの食品選択の際に産地も意識するように促したが、小学生はまだ1人で買い物をする機会が少ない。また、給食以外の食生活の大部分を家庭が担っている。そこで、家庭への啓発も必要であると考え、授業内容や日本の食料生産の現状、学校給食における地産地消の取組について記載した食育だよりの配付を行い、授業内容について家庭で話し合うよう促すとともに、保護者からも学習した内容について感想を書いてもらった。



【配付した食育だよりの様子】

(2) 教科等と関連した給食指導

ア 第1学年 生活科「サラダでげんき」と関連付けた給食の時間における食に関する指導 題材名「すききらいせずにとべよう」

国語科「サラダでげんき」と関連付け、「すききらいせずにとべよう」という題材で指導を行った。この日の給食のサラダは、主人公りっちゃんが作ったサラダをイメージして作ったことを伝え、りっちゃんのお母さんは野菜だけではなく、ハムやこんにゃくなど、色々な食材が入ったサラダを食べたので、元気になったことを児童に振り返らせた。



【給食指導の様子】



【指導の日の給食】

イ 小学校第4学年 国語科「くらしの中の和と洋」と関連付けた給食の時間における食に関する指導 題材名「徳島県の郷土料理を知ろう」

4年生は国語科の中で、日常生活の中にある和と洋について学習している。そこで、国語科「くらしの中の和と洋」と関連付け、食生活の和の部分に焦点をあて、「徳島県の郷土料理について知ろう」という題材で、給食指導を行った。給食でも和食の日と洋食の日があること、また、和食の中でも郷土料理という地域固有の料理があり、この日の給食のふしめん汁は、徳島県の郷土料理であることを説明した。指導後、国語科「ふるさとの食について伝えよう」の学習の中で、担任も給食時の指導の内容を振り返りながら児童に指導を行っていた。



【給食指導の様子】



【指導の日の給食】

ウ 小学校第6学年 体育科(保健領域)「病気の予防」と関連付けた給食の時間における食に関する指導 題材名「食生活で塩を減らすための工夫を知ろう」

6年生は体育科の保健領域の中で、生活習慣病の予防のためには、脂質や塩分の摂り過ぎに注意することが重要であると学習している。そこで、体育科(保健領域)「生活のしかたと病気①ー生活習慣病の予防ー」と関連付け、日々の給食や家庭科の学習から「だし」を生かすことが塩分を減らすためのポイントであることや、この日の給食に使われていた塩昆布やかつお節など煮出しただし以外のうま味を多く持つ食品も上手に使うことで、簡単に塩分を減らすことができるということを伝えた。



【給食指導の様子】



【指導の日の給食】

4 成果

- 研究授業では、児童が毎日食べている学校給食と関連付けて指導を行ったことにより、児童は、日本の食料自給率の課題をより自分事として捉えることができた。また、教科で食育を行ったことにより、さらに知識を深めた上で単元のその後の学習に取り組むことができ、地産地消だけではなく、「食糧難になった時のために、好き嫌いせずに食べるようにする」など、多様な視点から日本の食料自給率の低さに対する解決策を考えることができ、深い学びにつながった。
- 給食を通して、児童が教科で学習した知識を深めたり広げたりすることができた。また、献立作成や給食づくりにおける努力や工夫を伝えたことで、児童の食に関する興味・関心をより一層高めることができた。
- 学習した内容を家庭に一方的に伝えるだけではなく、保護者からも学習した内容について感想をもらい、双方のコミュニケーションを図ることができた。
- 学級担任から「給食時間の指導で使用した教材を、その後の教科での指導にも使用したい」という意見をもらい、学級担任への資料提供にもつながり、連携を図ることができた。

5 課題

- T1の授業者以外の意見を取り入れる機会が少なかった。今後、教科で食育を行う場合は、教科主任にも授業内容について相談し、連携を図るようにしていきたい。
- 最初に授業の学習指導案を作成した際は、1時間でその単元が終わるほど、内容を詰め込みすぎている。食育の授業は1時間で終わることが多いが、教科で食育の授業を行う場合は、その1時間で単元のすべてが終わることがないように、その単元全体を通した食育計画も作成し、内容を精選した授業作りを行いたい。
- その単元の実施時期に教科で食育を行ったり、教科と関連付けた給食指導を行ったりするために、関連付けて食に関する指導をする教科の単元の実施時期を正確に把握しておく必要があると感じた。単元の実施時期が正確に記載された食育全体計画②の作成ができるように、食育推進委員会などを活用して全教職員で情報共有を行い、計画的に食育指導を進めていきたい。
- 栄養教諭は学校に常駐していない場合が多いため、何度も打合せや相談をすることが難しいと感じた。今後は、web 会議ツールなども活用した打合せも検討したり、担任と栄養教諭が互いに相談しやすくなるように体制を整えたりしていきたい。

心にひびくポスターコピーをつくろう ーコピーライティングのすすめー

三好中学校 教諭 天竹 雄紀

1 はじめに

(1) 背景

本単元は、生徒が「総合的な学習の時間（ふるさと調べ学習）」で収集・整理した地域に関する情報を、「国語科」の学習として観光ポスターのコピーに書き直す活動を通して、地域の産業の担い手や東みよし町産業課の協力を得て、最終的に観光ポスターの制作・配付という形で地域振興に生かすという、「国語科」「総合的な学習の時間」「地域」のつながりを意識して展開した。

(2) 生徒の実態と課題

本学年の生徒は、国語科全般で学習意欲が高い一方で、先行する「ふるさと調べ学習」でふるさとの魅力を説明する文章を作成した際、文章の構成を考えながら問題点を見いだしたり、自分の考えをもったりして、伝えたいことを明確に文章にまとめる力に課題があることが分かった。

(3) 研究の意義

この課題を解決するため、先に作成した文章を観光ポスターのキャッチコピー及びボディコピー（以下、コピー）に書き直させることにした。この活動を通じて、「観光客に対して」という相手意識や、「ふるさとの魅力を伝える」という目的意識を明確にし、再度ふるさとの魅力を捉え直し、伝えたいことを明確に文章にまとめる力を養うことを目指した。

総合的な学習の時間（ふるさと調べ学習取材の様子）



いちご栽培



藍染め



そば打ち



醤油づくり



傾斜地農耕



そば米

2 研究の目的と方法

(1) 研究の目的（単元の目標）

本単元を通して、以下の目標を達成することを目指す。

①知識及び技能

事象や行為、心情を表す語句の量を増し、辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して文章に使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。

②思考力、判断力、表現力等

読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができること。学びに向かう力、人間性等：ふるさとの魅力が伝わるコピーを作成するという課題の解決に向けて、粘り強く取り組もうとすること。

(2) 指導上の工夫（方法）

コピー作成の手立てとして、実際のコピーライティングの現場で用いられている概念や方法を参考にし、具体的に以下の内容を盛り込んだ学習の手引きを作成した。

「キャッチコピーの型」「ボディコピー6フレーム」（『最強のコピーライティングバイブル』横田伊佐男著 ダイアモンド社 2016年）

また、ふるさとの魅力を伝える文章をコピーにリライトさせることで、目的や意図を再確認させるとともに、観光ポスターとして発信するというゴールを示すことで、「書くこと」への興味・関心をもたせるようにした。

(3) 単元の学習指導計画（国語科7時間）

学習は、以下の5つの段階（国語科の指導事項）を踏んで進めた。

- ①情報を収集・整理する（総合的な学習の時間）：取材活動。
- ②収集・整理した情報から必要な情報を取り出す（総合的な学習の時間）：ふるさと調べ学習まとめ・発表等。
- ③取り出した情報が目的や意図に相応しいか比較したり、選択したりする：ふるさとの魅力を伝える文章の作成（作文の構成や内容の検討）。
- ④でき上がった文章をコピーにリライトし文章を見直す：コピーの構成の検討（「キャッチコピーの型」「ボディコピー6フレーム」の活用）と記述。
- ⑤観光ポスターの性質を理解し、適切な表現を吟味して発信する：推敲、共有・発表（背景写真の挿入）。



徳島県中学校国語教育研究大会
第32回四国国語教育研究大会の様子

3 結果と考察

評価規準 主な評価活動・方法

(1) 知識・技能

- ・ 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできているかを確認（ワークシート）。

(2) 思考・判断・表現

- ・ 読み手が興味関心をもち行動を起こそうと思うコピーを書くことができているかを確認（ワークシート）。
- ・ 読み手の立場を意識した表記や語句の使い方、叙述の仕方になっているかを確認（ワークシート）。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

- ・ ふるさとの魅力を伝える文章の内容がコピーの内容に相応しくなるように再検討しているか（観察・発表）。
- ・ コピーに相応しい背景写真を選択し、完成した作品の魅力を伝えようとしているか（観察・発表）。

(4) 共同的な推敲活動

- ・ 特に推敲の段階では、友達の助言を参考にしながら、伝えたいことが明確なボディコピーに仕上げることが目標とした。活動内容：取材した事業所のグループに分かれてボディコピーを読み合い、お互いに助言をする。
- ・ 助言のツール：「コピーチェッカー」で評価をし、タブレット端末上の付箋を用いてアドバイスをするように伝えた。
- ・ 評価の状況：助言を参考にし、読み手の立場を意識した表記や語句の使い方、叙述の仕方になっているかを確認した。

(5) 指導の具体的な手立て

- ・ 学習意欲が低下した場合を想定し、推敲前用と推敲後用のワークシートを用意することで、文章の質が良くなったことが自覚できるようにする指導上の工夫が考えられた。

4 おわりに

本実践は、「総合的な学習の時間」で得た地域への知見を「国語科」で応用し、観光ポスターのコピー作成という具体的な言語活動に落とし込むことで、生徒の「伝えたいことを明確に文章にまとめる力」の課題解決を図った。コピー作成に際しては、実際のコピーライティングの理論を参考にした手引き（キャッチコピーの型、ボディコピー6フレーム）を提供し、指導の個別化と学習の個性化の両面を意識した。また、共同的な推敲活動を通じて、読み手や目的意識を明確にすることで、より伝わる文章を追求させた。最終的に、この学びを観光ポスターの制作・配付という形で地域振興に生かすという、社会とのつながりをもった学習活動が展開できた。

きつと、忘れられない
思い出になる。

ここでしか
味わえない
ものがある
から。

美味しさへ強いこだわりをもって……
標高千メートルの水の丸地区で、「水の丸いちご」としていちごの栽培を始めた、農家の近藤さん。美味しいいちごを追求し続け、日本初「一年中いちごを取産できること」を達成した農家として、日本一に認定されました。そんな近藤さんは「農家民宿いちごはうす」を営んでおり、ここではいちご狩り体験や民宿体験などができ、自然を間近に感じることがができます。

ここでしか味わえない、迫力満点の山脈や青空、満天の星空は田舎ならではの楽しさを届けてくれ、さつとその風景に目を奪われることでしょう。
水の丸のきれいな空気と水で、いちごを雨に当たらない、清潔なビニールハウスで大きく育ったいちごは、病害虫のリスクも少なく、香り豊かで、安心安全ないちごになっています。
さまざまな季節体験もあり、季節ごとに移り変わる品種も見どころです。また、冬のいちご「恋みのり」はこれからの季節、甘みが増し、更に美味しくなります。
美しい風景を眺めながら、大自然のなか味わういちごを、ぜひ一度体験してみてください。

ここでしかできない
特別な体験

二〇一〇年、休校になった西庄小学校を利用し、地元の魅力を広めるために『西庄良所会』が結成されました。ここでは、そば打ちや傾斜地農耕など、様々な体験をすることが出来ます。
そば打ち体験講師である東山光雄さんのそばに対する知識は特別で、ネットからは得られないほどのものです。知識を深めながら体験を楽しめる、特別なひとときとなります。
そば打ち体験で使われるそば粉は西庄で育てられた、自家製粉で、育て方や環境など、様々な面で説明を受けることができます。
この場所でしか味わえない味、そして特別なひとときがあります。

西庄良所会
〒779-4702
山登の駅 清流の水車
徳島県三好郡東みよし町
西庄平27

観光のご相談や質問はサイトからお気軽にご連絡ください!

藍

みかも染工房に行くと心が温かくなり、
どこか懐かしく感じます

みかも染工房は平成10年に設立されました。ここでは、みかもハーブ 藍香会のみなさんが「藍染め」を行っています。仕事を辞めた方々や趣味を楽しんで時間を有効に使いたい方々が集まっています。みかもハーブ 藍香会のみなさんは、子どもたちに「藍染め」を知ってもらうために体験を募集しています。

みかも染工房は染め方の種類が豊富です。柿渋染め、藍のたたき染め、藍建て染め、草木染めがあります。また、みかもハーブ 藍香会のみなさんはとても優しく、人と人のふれあいを大切にしています。徳島の伝統技術を身近で体験することができます。

ここでは、東みよし町の特産品となる「あたご柿」を使っての染め体験もしています。自分の作りたい柄にあったアドバイスもしてくれます。

また、7月ごろにしかできない染め物があります。藍の葉を使った藍のたたき染めです。その時期にしかできない体験です。藍染め体験は、一度行けば「もう一度行きたい」という気持ちになります。早体験しないと楽しさを後悔してしまいます。

みかも染工房で「藍染め」体験して、自分の作品を手にしたとき、心が温かくなって「また来たい」と必ずみなさんが思うことでしょう。ぜひ、みかも染工房で藍染めを体験してみてください。
※染め体験がでる「みかも染工房」で、藍染めを教えてくださるのが「みかもハーブ 藍香会」のみなさんです。

利用時間	町内の方	町外の方	
10:00~12:00	500円	1000円	※1グループの料金です。何人でも使っても 料金は変わりません。
13:00~15:00	500円	1000円	詳しくは「みかも染工房」で検索してください!

真鍋本家
地元民から愛される味を求めて

真鍋本家(醤油店)は、明治33年に創業した、三好市池田町で最も古い醤油店です。
真鍋本家の醤油は、まろやかで塩辛くないと評判です。また、豊富な種類があり、そのどれもが人気で、さまざまなシーンや料理で使うことができます。例えば、焼き魚やだし巻き玉子など、日本の食卓に欠かせない料理によく合います。
真鍋本家は、澄んだ空気とおいしい水の抱かれた三好市池田町で明治33年から伝統の味を引き継いできました。今では徳島県が認定する『阿波の逸品』としても選定され、高い人気を得ています。また、さまざまな賞も受賞しています
醤油の他に、もろみやあゆの姿煮などの商品も販売しています。あゆの姿煮は、長時間鍋で煮込んでいるので身や骨が柔らかくあゆの美味しさが口の中全体に広がります。真鍋本家の商品は、真鍋本家のホームページや道の駅から購入することができます。
真鍋本家は、引き継がれてきた昔ながらの醤油の味を楽しむことができ、地元のたくさんの人達に愛されています。

生徒作品（観光ポスター）

令和7年度 教育研修・研究事業報告

1 研究主題

「VUCA時代を乗り越え、心豊かにたくましく生き抜く『人財』の育成」

2 事業

(1) 調査研究

ア 教育課程の研究

イ 情報教育についての研究

ウ 地域の特性に応じた教育活動の研究

(人権教育、複式学習活動、特別支援教育、働き方改革等)

エ 生徒指導にかかわる諸問題の調査研究(不登校、居場所づくり等)

オ 各種研究会への参加と研究物の収集

カ 購入図書・DVD等の紹介

(2) 各種研究会及び研修会の開催・共催

ア 教育研究推進協議会・教育研究所協力委員会

5月28日(水)

イ 情報教育研修会(小教研情報教育部会と共催)

7月28日(月) 夏期研修会(三好市地域みらい創発センター)

10月31日(金) コンピュータ作品審査等(三好教育センター)

ウ 人権教育研究会(三好郡市学校人権教育研究大会後援)

11月20日(木) 中学校部会(池田中学校)

エ 新任管理職(校長)研修 参加者6名

5月16日(金) 講師 天竹 勉(東みよし町教育委員会教育長)

柏尾 美恵(加茂小学校事務室長)

後藤田佳孝(三野中学校事務長)

オ 管理職(教頭)研修会 参加者20名

7月29日(火) 講師 伊丹 賢治(三好市教育委員会教育長)

柏尾 美恵(加茂小学校事務室長)

後藤田佳孝(三野中学校事務長)

カ 三セ研修 Chromebook 教室 参加者延べ23名

8月5日(火)・27日(水)

講師 谷藤 裕美 ICT 指導員(東みよし町教育委員会)

宮原 裕二 ICT 支援員(三好市教育委員会)

頭師 栄太 ICT 支援員(三好市教育委員会)

久保 勇 ICT 支援員(三好市教育委員会)

※オ～キ「三好教育振興協議会」との連携による事業

キ 学校運営研修会(教頭・中堅教員研修会) 参加者17名

6月10日(火) 講義1 真鍋 憲人(三好教育研究所長)

6月19日(木) 講義2 大谷 一幸(久勝小学校長)

7月11日(金) 講義3 大塚 一志(脇町小学校長)

10月8日(水) 講義4 久保 美智子(三加茂中学校 指導教諭)

曾我部 さち(加茂小学校 主幹教諭)

※カ・キ「三好教育振興協議会」との連携による事業

(3) 研究委嘱、研究協力校（園）への指導・助成

ア 研究発表校

芝生小学校

イ 研究協力校（令和8年度発表校）

足代小学校・三好教育研究所

ウ 委嘱研究員

小学校 1区・4区 昼間小学校 辻 美帆 教諭

2区・3区 箸蔵小学校 森 友紀美 教諭

中学校 1区 三好中学校 天竹 雄紀 教諭

(4) 三好市教育支援センター（そよかぜ学級）の学習支援

(5) 各研究会、団体等との協力

ア 三好教育会

イ 三好郡・市小学校教育研究会、三好郡・市中学校教育研究会

ウ 三好郡・市学校人権教育研究協議会

エ 三好郡・市各幼稚園・小学校・中学校

オ 中・四国教育研究所連盟

カ その他教育関係諸機関

3 研究成果の発表及びその普及

(1) 三好教育研究発表会

日時 令和7年8月21日（木） 13:25～16:40

会場 三好市池田総合体育館

○研究発表

・芝生小学校 研究主題

自他を認め合い、多様な社会を心豊かに生きる子どもの育成

～人・人・人とのつながりを通して～

発表者 平尾 美和 教諭

・三好教育研究所 研究主題

別室登校の生徒たちの実際

～アートセラピー的取組とそよかぜ学級～

発表者 井川 早苗 研究員

○講演

演題 いのちと夢のコンサート

講師 弓削田 健介さん（合唱作曲家）

(2) 研究紀要（第66集）の発行と研究所報（第106号）の発行

各学校・園、各研究機関に送付

(3) ホームページ等による広報活動

(4) 研究員による研究成果のまとめと報告（県教育委員会へ提出）

(5) 三好教育振興協議会の事務

各種調査・整理、会議の運営など

歴代委嘱研究員一覧(平成元年～)

幼稚園・小学校

年度	幼稚園		小学校			
	幼稚園	小学校1区	小学校2区	小学校3区	小学校4区	小学校5区
H1	国見マチ子(絵堂幼)	藤本政義(王地小)	天竹勉(昼間小)	吉岡弘恵(池田小)	森勝正(河内小)	森本義博(櫛生小)
	斎藤光子(三野幼)	坂野町子(三庄小)	前川順子(辻小)	久保徹(箸蔵小)	小笠健二(大野小)	和田初枝(落合小)
2	国見マチ子(絵堂幼)	藤本政義(王地小)	天竹勉(昼間小)	吉岡弘恵(池田小)	森勝正(河内小)	森本義博(櫛生小)
	斎藤光子(三野幼)	坂野町子(三庄小)	前川順子(辻小)	久保徹(箸蔵小)	小笠健二(大野小)	和田初枝(落合小)
3	山口悦子(増川幼)	小笠松美(王地小)	藤野圭一(足代小)	武内隆史(出合小)	竹野啓治(大和小)	細川文男(櫛生小)
	横田嘉代子(昼間幼)	大瀧和彦(加茂小)	為実敬子(西井川小)	真鍋宏実(馬場小)	篠原聡(下名小)	松村直也(和田小)
4	佐々木隆子(東山幼)	大瀧和彦(加茂小)	為実敬子(西井川小)	武内隆史(出合小)	竹野啓治(大和小)	松村直也(和田小)
	井上淳子(足代幼)	小笠松美(王地小)	藤野圭一(足代小)	真鍋宏実(馬場小)	篠原聡(下名小)	細川文男(櫛生小)
5	岡久尚子(白地幼)	辻宏明(芝生小)	中川系子(足代小)	坂本武彦(白地小)	田中敬子(上名小)	谷恒二(吾橋小)
	矢野聡子(出合幼)	田岡茂樹(加茂小)	齋藤孝(西井川小)	伊丹賢治(三縄小)	志磨昭子(大和小)	大塚一志(栃之瀬小)
6	岡久尚子(白地幼)	辻宏明(芝生小)	中川系子(足代小)	坂本武彦(白地小)	志磨昭子(大和小)	大瀧和彦(吾橋小)
	矢野聡子(出合幼)	田岡茂樹(加茂小)	齋藤孝(西井川小)	伊丹賢治(三縄小)	田中敬子(上名小)	大塚一志(栃之瀬小)
7	大久保珠美(池田幼)	松田徳子(王地小)	真鍋宏実(昼間小)	中川法子(池田小)	井後辰哉(政友小)	濱口久弥(吾橋小)
	國金砂恵子(野呂内幼)	中川斉史(三庄小)	土井清子(井内小)	川人成子(三縄小)	峯川郁代(山城小)	森本誠司(落合小)
8	國金砂恵子(川崎幼)	松田徳子(王地小)	真鍋宏実(昼間小)	中川法子(池田小)	井後辰哉(政友小)	濱口久弥(吾橋小)
	大久保珠美(池田幼)	中川斉史(三庄小)	土井清子(井内小)	川人成子(三縄小)	峯川郁代(山城小)	森本誠司(落合小)
9	岡尾千恵(下名幼)	原敏二(三庄小)	中川貴史(昼間小)	篠原晃代(馬路小)	小笠原誠(平野小)	徳善之浩(名頃小)
10	木村恵美子(西岡幼)	野町孝英(芝生小)	石井文子(辻小)	島田晴代(野呂内小)	篠原義正(河内小)	岩崎順子(善徳小)
11	三木香代(西庄幼)	森北直樹(加茂小)	中村瑞穂(足代小)	山下史記(佐野小)	河野通之(大野小)	向井ひろみ(菅生小)
12	渡辺千枝(三野幼)	平田公彦(太刀野小)	小角昌美(西井川小)	三好美智代(西山小)	谷口政代(下名小)	品川知美(櫛生小)
13	岡本久美(西井川幼)	三橋洋子(西庄小)	今川仁史(東山小)	生藤元(箸蔵小)	三橋泰(落合小)	
14	大西恒子(井内幼)	喜多とよみ(王地小)	細谷加代子(井内小)	近藤直美(池田小)	瀧下光子(西宇小)	
15	山中あけみ(箸蔵幼)	樋口隆則(絵堂小)	加藤公夫(昼間小)	近藤明美(三縄小)	松浦理恵(善徳小)	
16	新居利枝(馬路幼)	松代容子(芝生小)	福田ミカ(辻小)	松下寛興(白地小)	井上清隆(栃之瀬小)	
17	古井智恵子(善徳幼)	武田淳子(三庄小)	佐藤仁美(足代小)	向井ひろみ(馬路小)	山中祐二(大野小)	
18	谷本紀子(大野幼)	平尾佐知子(加茂小)	北川ひとみ(王地小)	渡邊真弓(川崎小)	岡本悟(櫛生小)	
19	佐藤重美(東山幼)	平野貴志(東山小)	豊田昌弘(西井川小)	木内晃(佐野小)	猪子研司(和田小)	
20	鳥首こずえ(加茂幼)	邊見明美(絵堂小)	井原理恵(芝生小)	宮本真吾(西山小)	河野恵子(山城小)	
21	大西照子(西井川幼)	和田光司(西庄小)	小角昌美(井内小)	中妻稔子(箸蔵小)	森祐大(吾橋小)	
22	釈子育香(井内幼)	森幸子(昼間小)	松本珠実(王地小)	永山睦子(池田小)	清重正俊(栃之瀬小)	
23	城尾春菜(池田幼)	小角聡志(加茂小)	平尾昌彦(辻小)	安藤久子(三縄小)	平岡千佳(政友小)	
24	元木真砂代(池田幼)	近藤博美(三庄小)	園尾淑子(芝生小)	神谷美樹(白地小)	岩崎真人(櫛生小)	
25	石井やよい(昼間幼)	大久保智江(足代小)	中瀧由紀(井内小)	石丸美穂(馬路小)	福田浩司(東祖谷小)	
26	田岡あけみ(三庄幼)	大西三千代(昼間小)	木村栄治(王地小)	濱本恭代(川崎小)	喜多芳恵(下名小)	
27	真鍋友子(辻幼)	大西勇貴(加茂小)	藤川美香(西井川小)	新藤茂美(箸蔵小)	長岡鷹太(吾橋小)	
28	加藤由美(辻幼)	木村麻紀子(三庄小)	玉木恵子(芝生小)	上浦大輔(池田小)	瀧下光子(政友小)	
29	岡尾千恵(山城幼)	岡田直人(足代小)	岡慎太郎(辻小)	松本美穂(三縄小)	竹内友梨(山城小)	
30	山本真由美(白地幼)	曾我部悦嗣(昼間小)	大西利江子(王地小)	中川法子(白地小)	岩崎順子(櫛生小)	
R1	藤川孝子(足代幼)	鮎川美加(加茂小)	伊丹智子(西井川小)	前田泉季(馬路小)	喜多芳恵(山城小)	
2	宮成典子(加茂幼)	筆本晴香(三庄小)	徳永直(芝生小)	高田寛子(箸蔵小)	中岡加代子(東祖谷小)	
3	佐藤知美(辻幼)	横山万莉菜(足代小)	笹田季生(王地小)	中妻美穂(池田小)	齋藤早織(下名小)	
4	赤堀奏子(池田幼)	逸見香織(昼間小)	住友優香(辻小)	中瀧由紀(三縄小)	養護部会	
5	森本智恵(池田幼)	川人律子(加茂小)	西原依里(芝生小)	竹原朋子(白地小)	川人美保(山城小)	
6	中川瑛子(市教委)	中妻道人(三庄小)	福井裕佳(西井川小)			
7		辻美帆(昼間小)		森友紀美(箸蔵小)		

歴代委嘱研究員一覧(平成元年～)

中学校

年度	中学校				
	中学校1区	中学校2区	中学校3区	中学校4区	中学校5区
H1	坂部栄子(三野中)	頭師正明(井川中)	小島治子(池田一中)	大畑知(大野中)	住友恵子(西祖谷中)
2	坂部栄子(三野中)	頭師正明(井川中)	小島治子(池田一中)	大畑知(大野中)	住友恵子(西祖谷中)
3	新居克佳(三加茂中)	嵯峨久明(三好中)	西岡ひとみ(池田中)	佐藤英一郎(山城中)	島本富美子(東祖谷中)
4	新居克佳(三加茂中)	嵯峨久明(三好中)	西岡ひとみ(池田中)	佐藤英一郎(山城中)	玉木富美子(東祖谷中)
5	尾関英知(三野中)	井川秀樹(井川中)	入江宏明(池田一中)	西浦陽子(大野中)	三橋和博(西祖谷中)
6	尾関英知(三野中)	井川秀樹(井川中)	入江宏明(池田一中)	西浦陽子(大野中)	三橋和博(西祖谷中)
7	上田尚(三野中)	元木康代(三好中)	村上義昭(池田中)	山田泰弘(山城中)	邊見隆史(東祖谷中)
8	上田尚(三野中)	元木康代(三好中)	村上義昭(池田中)	山田泰弘(山城中)	邊見隆史(東祖谷中)
9	三好康彦(三加茂中)	国友博司(井川中)	伊丹尚子(池田一中)	大西恭司(大野中)	島本清(西祖谷中)
10	青山貴幸(三野中)	上田美恵(三好中)	坂本浩江(池田中)	田村裕(山城中)	大谷一幸(東祖谷中)
11	平尾治美(三加茂中)	藤本恒幸(井川中)	尾崎真紀(池田一中)	新見哲也(大野中)	大倉俊之(西祖谷中)
12	宮成万寿美(三野中)	川人勝久(三好中)	内田公生(池田中)	白井正道(山城中)	宮成誠樹(東祖谷中)
13	玉木富美子(三加茂中)	川人祐子(井川中)	西岡ひとみ(池田一中)	板東祥子(西祖谷中)	
14	辺見俊二(三野中)	入江宏明(三好中)	川人恵美(池田中)	根津道子(東祖谷中)	
15	坂部公章(三加茂中)	山内幸子(井川中)	高田和枝(池田一中)	大谷一幸(山城中)	
16	村上義昭(三野中)	野田圭祐(三好中)	峰友真弓(池田一中)	安田恵(西祖谷中)	
17	玉木利典(三加茂中)	立花久(井川中)	久保喜昭(池田中)	岡本博一(東祖谷中)	
18	木藤和恵(三好中)	宮浦理恵(三野中)	沖原真紀(西祖谷中)	丸岡美枝(山城中)	
19	藤本智恵(三加茂中)	大石さえ子(井川中)	中川浩幸(池田一中)	ナサーニョ・デネヒー(東祖谷中)	
20	垂水恵子(三好中)	窪田和弘(三野中)			
21			尾嶋麻子(池田中)	山口雄三(山城中)	
22	渡辺仁(三加茂中)	近藤幸(井川中)			
23			常村淳(西祖谷中)	山口義明(東祖谷中)	
24	片山徹(三好中)	小出真理子(三野中)			
25			細川誠治(池田中)	峰友真弓(山城中)	
26	佐藤篤史(三加茂中)	伊藤憲志(井川中)			
27			芳川未弥(西祖谷中)	岡田祐佳(東祖谷中)	
28	石崎雄一(三好中)	石橋洋平(三野中)			
29			平尾昌彦(池田中)	西昭弘(山城中)	
30	天竹雄紀(三加茂中)	三好佐知(井川中)			
R1			谷口真美(西祖谷中)	藤村美咲(東祖谷中)	
2	大田悦彰(三好中)	入交理子(三野中)			
3			徳善咲紀(池田中)	仁尾芳人(山城中)	
4	佐藤真也(三加茂中)	田口智也(井川中)			
5			内田ゆかり(西祖谷中)		
6				久保拓史(東祖谷中)	
7	天竹雄紀(三好中)				